

調 査 結 果

(事業者)



## 問1 貴社が関心のある環境問題についてお伺いします。

### 設問内容

問1 貴社が関心のある環境問題は、次のうちどれですか。  
次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 地球温暖化など地球規模の環境問題
- 2 ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル
- 3 大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害問題
- 4 公園や街並みの整備などゆとりと潤いのある環境の創出
- 5 豊かな自然環境の保全
- 6 身近な生きものの保全
- 7 貴重な野生動植物の保護
- 8 太陽光や風力など自然エネルギーの活用
- 9 人と自然が共生する快適環境の創造
- 10 有害化学物質や環境ホルモンなどによる環境汚染
- 11 不法投棄など廃棄物の不適正処理
- 12 大雨、大雪などの異常気象
- 13 空き家、空き地、耕作放棄地などの未利用地の増加
- 14 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

### 解析結果

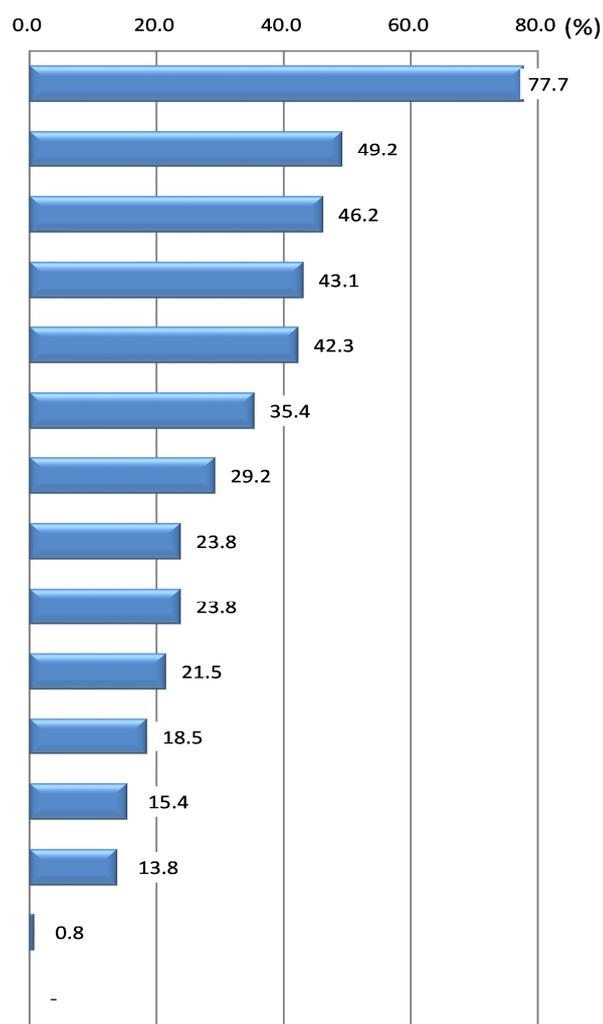
関心のある環境問題については、「ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル」がおよそ8割で他の項目に比べ高い回答となりました。次いで「太陽光や風力など自然エネルギーの活用」、「大雨、大雪などの異常気象」、「地球温暖化など地球規模の環境問題」、「大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害問題」の順で、いずれも4割台の回答となっています。

一方、低い回答であったのは、「人と自然が共生する快適環境の創造」、「身近な生きものの保全」、「貴重な野生動植物の保護」など、自然環境や野生動植物の保護に関する項目で2割以下の回答でした。【表1参照】

表 1

	項目	N=130	回答数	回答率
1	2	ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル	101	77.7%
2	8	太陽光や風力など自然エネルギーの活用	64	49.2%
3	12	大雨、大雪などの異常気象	60	46.2%
4	1	地球温暖化など地球規模の環境問題	56	43.1%
5	3	大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害問題	55	42.3%
6	11	不法投棄など廃棄物の不適正処理	46	35.4%
7	5	豊かな自然環境の保全	38	29.2%
8	4	公園や街並みの整備などゆとりと潤いのある環境の創出	31	23.8%
9	13	空き家、空き地、耕作放棄地などの未利用地の増加	31	23.8%
10	10	有害化学物質や環境ホルモンなどによる環境汚染	28	21.5%
11	9	人と自然が共生する快適環境の創造	24	18.5%
12	6	身近な生きものの保全	20	15.4%
13	7	貴重な野生動植物の保護	18	13.8%
14	14	その他	1	0.8%
		無回答	-	-
		計	573	424.2%

図 1



**問 2 環境問題への取組についてお伺いします。**

**設問内容**

問 2-1 貴社の環境への影響を少なくする取組、又は、環境に配慮した取組の意識についてお伺いします。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 手間や経済的負担等が多少かかっても積極的に取り組みたい
- 2 あまり手間のかからない範囲で取り組む
- 3 あまり経済的負担のかからない範囲で取り組む
- 4 手間や経済的負担等があまりかからない範囲で取り組む
- 5 特に考えていない
- 6 わからない
- 7 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

**解析結果**

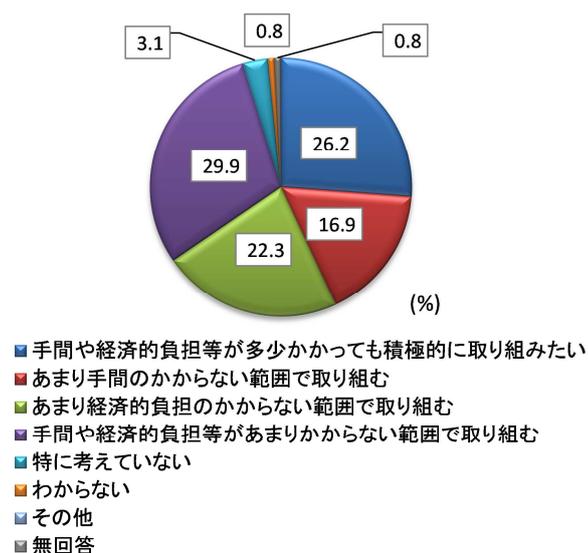
環境問題への取組の意識については、「特に考えていない」と「わからない」を合わせた回答が3.9%にとどまり、残る殆んど事業者が、決めた取組範囲の中で環境問題に取り組む意識があると回答しています。取組範囲としては「手間や経済的負担等があまりかからない範囲で取り組む」が29.9%で最も高い回答でしたが、「手間や経済的負担等が多少かかっても積極的に取り組みたい」とする積極的姿勢の回答も26.2%となっています。

また、「あまり経済的負担のかからない範囲で取り組む」(22.3%)の回答が、「手間や経済的負担がかからない範囲で取り組む」(16.9%)の回答より5.4ポイント多く、経済的負担の大きさが取組拡大のハードルの一つとなっているものとうかがえます。【表 2-1 参照】

表 2-1

項目	N=130	回答数	回答率
1 手間や経済的負担等が多少かかっても積極的に取り組みたい		34	26.2%
2 あまり手間のかからない範囲で取り組む		22	16.9%
3 あまり経済的負担のかからない範囲で取り組む		29	22.3%
4 手間や経済的負担等があまりかからない範囲で取り組む		39	29.9%
5 特に考えていない		4	3.1%
6 わからない		1	0.8%
7 その他		-	-
無回答		1	0.8%
計		130	100.0%

図 2-1



設問内容

問2-2 貴社の環境への影響を少なくする、又は、環境に配慮した取組の実態についてお伺いします。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 すでに実施している
- 2 実施を検討中である
- 3 将来、検討したい
- 4 実施する予定はない
- 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

解析結果

環境問題への取組については、「すでに実施している」と「実施を検討中である」の回答を合わせた91社(7割)が環境問題へ取組を進めています。【表2-2①参照】

その内訳は、製造業が73.0%(27社/全37社)、製造業以外が68.8%(64社/全93社)となっています。【表2-2②参照】

また、「将来、検討したい」27社の業種は、製造業7社(食料品4社ほか)、製造業以外20社(サービス業8社ほか)で、「実施する予定はない」8社(6.2%)の内訳は、製造業1社(食料品1社)、製造業以外7社(卸売・小売3社ほか)となっています。【表2-2②参照】

「その他」には、「効果は少ないがLED化を実施した。」(建設業)、「エコアクション21認証。」(建設業)という回答が挙げられました。

表2-2①

項目	N=130	回答数	回答率
1 すでに実施している		79	60.7%
2 実施を検討中である		12	9.2%
3 将来、検討したい		27	20.8%
4 実施する予定はない		8	6.2%
5 その他		3	2.3%
無回答		1	0.8%
計		130	100.0%

図2-2

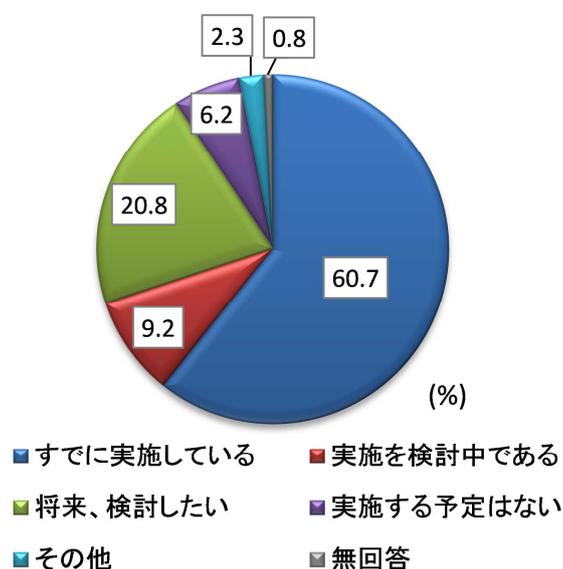


表 2-2② 業種クロス集計

		選択肢	1	2	3	4	5	無回答	
		合計	すでに実施している	実施を検討中である	将来、検討したい	実施する予定はない	その他		
合計		130 100.0%	79 60.7%	12 9.2%	27 20.8%	8 6.2%	3 2.3%	1 0.8%	
業種	製造業	1. 食料品	10 100.0%	3 30.0%	2 20.0%	4 40.0%	1 10.0%	-	-
		2. 衣類その他の繊維製品	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	-
		3. 木材・木製品	3 100.0%	3 100.0%	-	-	-	-	-
		4. パルプ・紙・紙加工	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
		5. 出版・印刷関係	3 100.0%	2 66.7%	-	1 33.3%	-	-	-
		6. 石油・化学関連	2 100.0%	2 100.0%	-	-	-	-	-
		7. 金属・機械製品	9 100.0%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	-	-	1 11.1%
		8. その他の製造業	7 100.0%	4 57.1%	1 14.3%	2 28.6%	-	-	-
	製造業以外	9. 建設業	17 100.0%	11 64.7%	1 5.9%	3 17.6%	-	2 11.8%	-
		10. 卸売・小売	22 100.0%	16 72.8%	-	2 9.1%	3 13.6%	1 4.5%	-
		11. 飲食店	-	-	-	-	-	-	-
		12. 金融・保険業	3 100.0%	2 66.7%	-	1 33.3%	-	-	-
		13. 運輸・通信業	15 100.0%	8 53.3%	3 20.0%	3 20.0%	1 6.7%	-	-
		14. 不動産取引業	1 100.0%	-	-	1 100.0%	-	-	-
		15. サービス業	27 100.0%	15 55.6%	3 11.1%	8 29.6%	1 3.7%	-	-
		16. 廃棄物処理業	3 100.0%	2 66.7%	-	-	1 33.3%	-	-
		17. 環境関連ビジネス	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
		18. その他	4 100.0%	2 50.0%	-	1 25.0%	1 25.0%	-	-
	不明		-	-	-	-	-	-	-

## 設問内容

問2-3 現在、貴社は環境への影響を少なくする、又は、環境に配慮について、どのような取組をされていますか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 省エネルギー設備の導入
- 2 太陽光発電などクリーンエネルギーの導入
- 3 エコマークなど環境にやさしい製品の利用
- 4 空きビン・空き缶などの分別回収
- 5 廃棄物・包装容器のリサイクルや減量
- 6 過剰包装の自粛
- 7 社内自動車の効率利用やエコカーへの転換
- 8 通勤時の自動車利用の自粛
- 9 待機中のエンジン停止など、エコドライブの推奨
- 10 環境問題についての社内教育
- 11 自社の環境に関する情報提供
- 12 事業所の敷地内や屋上の緑化
- 13 環境関連活動団体や基金への協力・支援
- 14 地域の美化清掃や植樹活動への協力・支援
- 15 環境問題に関する国際交流
- 16 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

## 解析結果

事業者が現在行っている取組については、「空きビン・空き缶などの分別回収」が99社(76.2%)で、他の項目に比べ高い回答となりました。次いで「省エネルギー設備の導入」、「廃棄物・包装容器のリサイクルや減量」が、64社(同率49.2%)の回答となりました。【表2-3①参照】

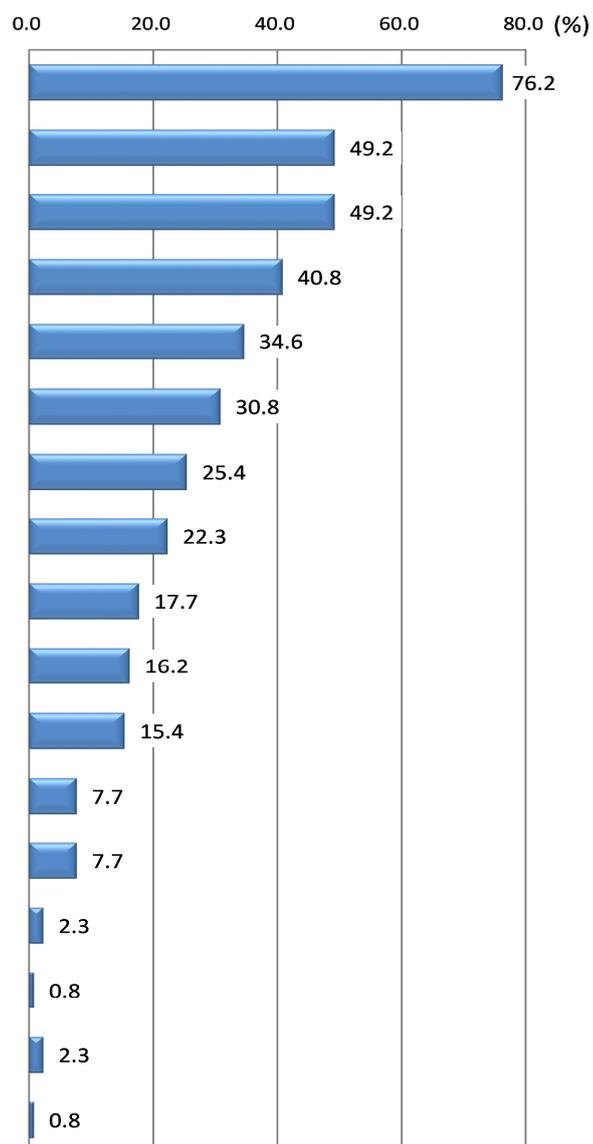
一方、「太陽光発電などクリーンエネルギーの導入」、「環境関連活動団体や基金への協力・支援」、「通勤時の自動車利用の自粛」、「環境問題に関する国際交流」などの回答は、1割以下の取組状況となっています。【表2-3①参照】

「その他」には、「日産自動車が進めているグリーンショップ活動。」(卸売・小売)、「里山保全活動(鹿角市)。」(その他の製造業)、「里山保全活動(鹿角市)。」(卸売・小売)という回答が挙げられました。

表 2-3①

	項目	N=130	回答数	回答率
1	4 空きビン・空き缶などの分別回収		99	76.2%
2	1 省エネルギー設備の導入		64	49.2%
3	5 廃棄物・包装容器のリサイクルや減量		64	49.2%
4	9 待機中のエンジン停止など、エコドライブの推奨		53	40.8%
5	7 社内自動車の効率利用やエコカーへの転換		45	34.6%
6	14 地域の美化清掃や植樹活動への協力・支援		40	30.8%
7	3 エコマークなど環境にやさしい製品の利用		33	25.4%
8	10 環境問題についての社内教育		29	22.3%
9	6 過剰包装の自粛		23	17.7%
10	11 自社の環境に関する情報提供		21	16.2%
11	12 事業所の敷地内や屋上の緑化		20	15.4%
12	2 太陽光発電などクリーンエネルギーの導入		10	7.7%
13	13 環境関連活動団体や基金への協力・支援		10	7.7%
14	8 通勤時の自動車利用の自粛		3	2.3%
15	15 環境問題に関する国際交流		1	0.8%
16	16 その他		3	2.3%
	無回答		1	0.8%
	計		519	399.4%

図 2-3



設問内容

問2-4 貴社の環境への影響を少なくする、又は、環境に配慮した取組体制についてお伺いします。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 担当者をおいている
- 2 担当の組織をつくっている
- 3 社内規定をつくっている
- 4 取り組んでいない
- 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

解析結果

事業者の取組体制については、「担当者をおいている」35社(26.9%)が最も高い回答となりました。さらに、「担当の組織をつくっている」17社(13.1%)、「社内規定をつくっている」13社(10.0%)を合わせた半数の事業者が環境活動の取組体制を確立していました。

一方、「取り組んでいない」との回答は、48社(36.9%)でした。【表2-4①参照】

「取り組んでいない」と回答した中で、「取り組んでいない」が取組体制を確立しているより多い業種は、製造業の「出版・印刷関係」、製造業以外の「運輸・通信業」と「サービス業」の3業種でした。【表2-2②参照】

「その他」には、「担当者はおいてないが所属長を中心に取組している。」(卸売・小売)、「トップダウンによる指示が浸透している。」(卸売・小売)、「総務部門で対応している。」(サービス業、金属・機械製品)、「従業員全員で分別活動に取り組んでいる。」(木材・木製品)、「社内一丸での推進。」(建設業)という回答が13件挙げられました。

表 2-4①

項目	N=130	回答数	回答率
1 担当者をおいている		35	26.9%
2 担当の組織をつくっている		17	13.1%
3 社内規定をつくっている		13	10.0%
4 取り組んでいない		48	36.9%
5 その他		13	10.0%
無回答		4	3.1%
計		130	100.0%

図 2-4

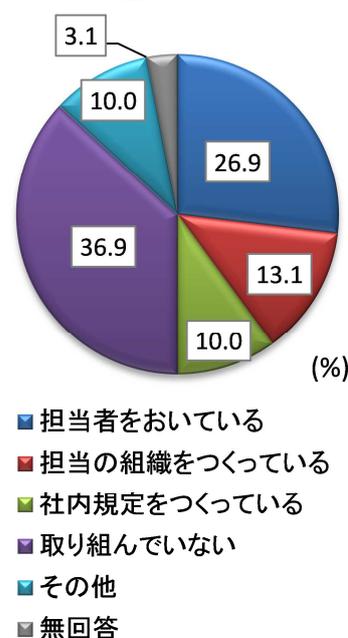


表 2-4② 業種クロス集計

		選択肢	1	2	3	4	5		
		合計	担当者 をおいている	担当の 組織を つくって	社内規定を つくって いる	取り組 んで いない	その他	無回 答	
合計		130 100.0%	35 26.9%	17 13.1%	13 10.0%	48 36.9%	13 10.0%	4 3.1%	
業種	製造業	1. 食料品	10 100.0%	4 40.0%	1 10.0%	-	4 40.0%	1 10.0%	-
		2. 衣類その他の繊維製品	2 100.0%	2 100.0%	-	-	-	-	-
		3. 木材・木製品	3 100.0%	-	-	1 33.3%	-	1 33.3%	1 33.4%
		4. パルプ・紙・紙加工	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
		5. 出版・印刷関係	3 100.0%	1 33.3%	-	-	2 66.7%	-	-
		6. 石油・化学関連	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	-
		7. 金属・機械製品	9 100.0%	-	3 33.3%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.2%	-
		8. その他の製造業	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	-	3 42.8%	-
	製造業以外	9. 建設業	17 100.0%	4 23.5%	3 17.6%	1 5.9%	7 41.2%	2 11.8%	-
		10. 卸売・小売	22 100.0%	8 36.4%	3 13.6%	2 9.1%	6 27.3%	2 9.1%	1 4.5%
		11. 飲食店	-	-	-	-	-	-	-
		12. 金融・保険業	3 100.0%	-	2 66.7%	-	1 33.3%	-	-
		13. 運輸・通信業	15 100.0%	4 26.7%	2 13.3%	-	9 60.0%	-	-
		14. 不動産取引業	1 100.0%	-	-	-	1 100.0%	-	-
		15. サービス業	27 100.0%	5 18.5%	-	5 18.5%	12 44.5%	3 11.1%	2 7.4%
		16. 廃棄物処理業	3 100.0%	-	1 33.3%	-	2 66.7%	-	-
		17. 環境関連ビジネス	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
		18. その他	4 100.0%	2 50.0%	-	-	-	2 50.0%	-
不明		-	-	-	-	-	-	-	

## 設問内容

問2-5 現在の取組以外で、将来、貴社は環境への影響を少なくする、又は、環境への配慮について、どのような取組ができると思われますか。  
次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 省エネルギー設備の導入
- 2 太陽光発電などクリーンエネルギーの導入
- 3 エコマークなど環境にやさしい製品の利用
- 4 空きビン・空き缶などの分別回収
- 5 廃棄物・包装容器のリサイクルや減量
- 6 過剰包装の自粛
- 7 社内自動車の効率利用やエコカーへの転換
- 8 通勤時の自動車利用の自粛
- 9 待機中のエンジン停止など、エコドライブの推奨
- 10 環境問題についての社内教育
- 11 自社の環境に関する情報提供
- 12 事業所の敷地内や屋上の緑化
- 13 環境関連活動団体や基金への協力・支援
- 14 地域の美化清掃や植樹活動への協力・支援
- 15 環境問題に関する国際交流
- 16 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

## 解析結果

現在の取組以外で、将来行いたい取組については、「太陽光発電などクリーンエネルギーの導入」が35社(26.9%)で最も高い回答となりました。次いで「待機中のエンジン停止など、エコドライブの推奨」34社(26.2%)「社内自動車の効率利用やエコカーへの転換」28社(21.5%)といった車に関する取組が上位の回答となりました。

一方、「空きビン・空き缶などの分別回収」5社(3.8%)、「環境問題に関する国際交流」4社(3.1%)が5%以下の低い回答となりました。

「空きビン・空き缶などの分別回収」は、現在の取組(問2-3)の回答率も76.9%と最も高く、取組済みであることから、また、「環境問題に関する国際交流」は、現在の取組(問2-3)の回答率も0.8%と低く、取組が難しいものと考え選択されなかったものと推察されます。【表2-5②参照】

現在の取組(問2-3)の回答率と将来の取組(問2-5)の回答率を積算した結果では「太陽光発電などクリーンエネルギーの導入」と「エコマークなど環境にやさしい製品の利用」が積算回答率を高め順位を上げています。【表2-5③参照】

表 2-5①

	項目	N=130	回答数	回答率
1	2 太陽光発電などクリーンエネルギーの導入		35	26.9%
2	9 待機中のエンジン停止など、エコドライブの推奨		34	26.2%
3	7 社内自動車の効率利用やエコカーへの転換		28	21.5%
4	10 環境問題についての社内教育		27	20.8%
5	3 エコマークなど環境にやさしい製品の利用		26	20.0%
6	1 省エネルギー設備の導入		25	19.2%
7	5 廃棄物・包装容器のリサイクルや減量		17	13.1%
8	12 事業所の敷地内や屋上の緑化		17	13.1%
9	14 地域の美化清掃や植樹活動への協力・支援		17	13.1%
10	8 通勤時の自動車利用の自粛		14	10.8%
11	6 過剰包装の自粛		13	10.0%
12	13 環境関連活動団体や基金への協力・支援		11	8.5%
13	11 自社の環境に関する情報提供		10	7.7%
14	4 空きビン・空き缶などの分別回収		5	3.8%
15	15 環境問題に関する国際交流		4	3.1%
16	16 その他		2	1.5%
	無回答		12	9.2%
	計		297	228.5%

図 2-5①

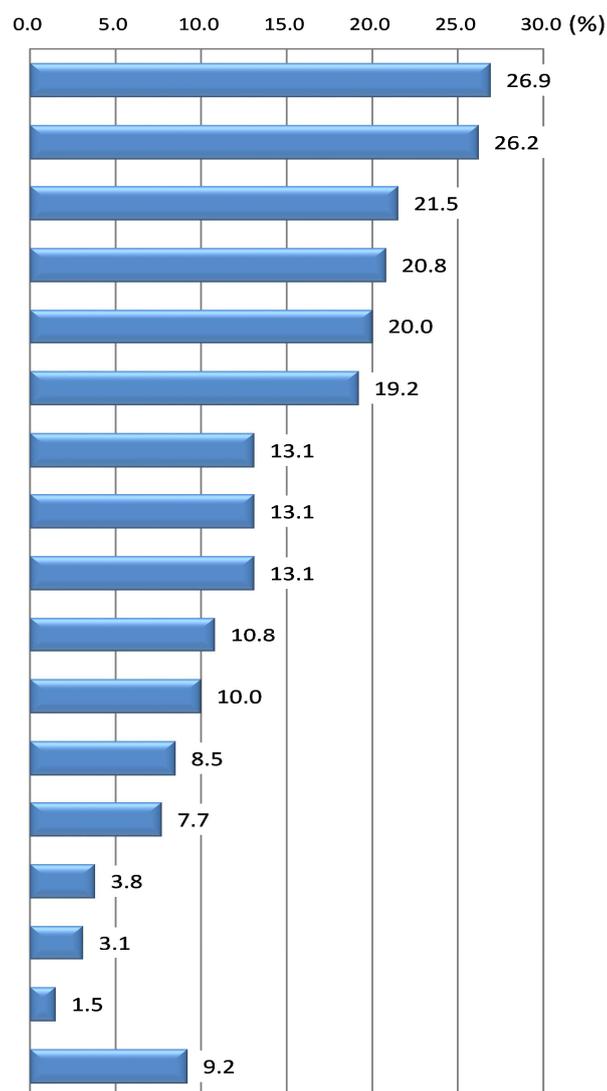


表 2-5② (問 2-3 比較)

	項目	N=130	問2-3	問2-5
1	4 空きビン・空き缶などの分別回収		76.2%	3.8%
2	1 省エネルギー設備の導入		49.2%	19.2%
3	5 廃棄物・包装容器のリサイクルや減量		49.2%	13.1%
4	9 待機中のエンジン停止など、エコドライブの推奨		40.8%	26.2%
5	7 社内自動車の効率利用やエコカーへの転換		34.6%	21.5%
6	14 地域の美化清掃や植樹活動への協力・支援		30.8%	13.1%
7	3 エコマークなど環境にやさしい製品の利用		25.4%	20.0%
8	10 環境問題についての社内教育		22.3%	20.8%
9	6 過剰包装の自粛		17.7%	10.0%
10	11 自社の環境に関する情報提供		16.2%	7.7%
11	12 事業所の敷地内や屋上の緑化		15.4%	13.1%
12	2 太陽光発電などクリーンエネルギーの導入		7.7%	26.9%
13	13 環境関連活動団体や基金への協力・支援		7.7%	8.5%
14	8 通勤時の自動車利用の自粛		2.3%	10.8%
15	15 環境問題に関する国際交流		0.8%	3.1%
16	16 その他		2.3%	1.5%
	無回答		0.8%	9.2%
	計		399.4%	228.5%

図 2-5②

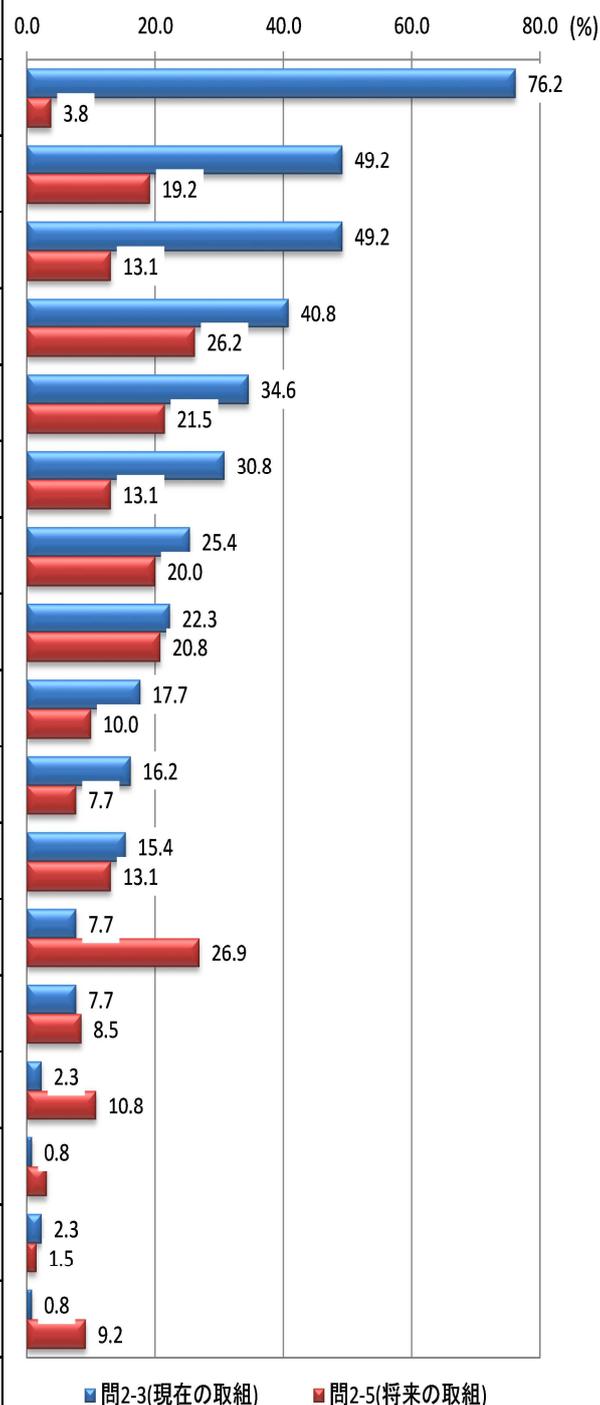
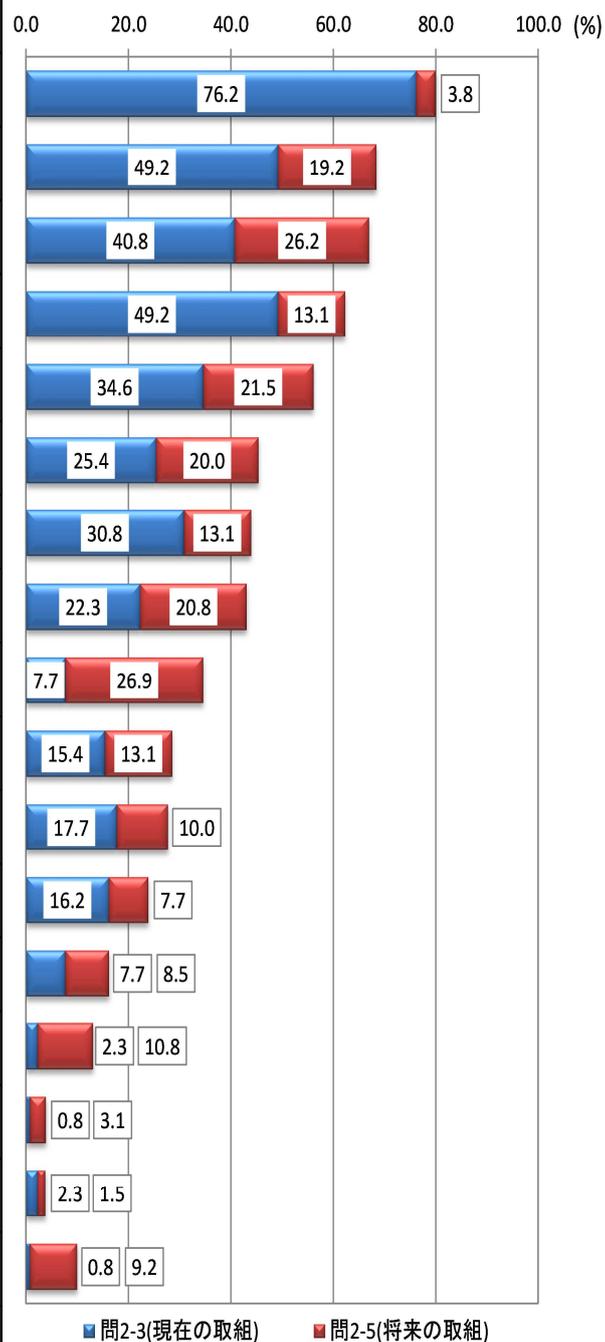


表 2-5③ (問 2-3 積上げ比較)

	項目	N=130	問2-3	問2-5	合計
1	4 空きビン・空き缶などの分別回収		76.2%	3.8%	80.0%
2	1 省エネルギー設備の導入		49.2%	19.2%	68.4%
3	9 待機中のエンジン停止など、エコドライブの推奨		40.8%	26.2%	67.0%
4	5 廃棄物・包装容器のリサイクルや減量		49.2%	13.1%	62.3%
5	7 社内自動車の効率利用やエコカーへの転換		34.6%	21.5%	56.1%
6	3 エコマークなど環境にやさしい製品の利用		25.4%	20.0%	45.4%
7	14 地域の美化清掃や植樹活動への協力・支援		30.8%	13.1%	43.9%
8	10 環境問題についての社内教育		22.3%	20.8%	43.1%
9	2 太陽光発電などクリーンエネルギーの導入		7.7%	26.9%	34.6%
10	12 事業所の敷地内や屋上の緑化		15.4%	13.1%	28.5%
11	6 過剰包装の自粛		17.7%	10.0%	27.7%
12	11 自社の環境に関する情報提供		16.2%	7.7%	23.9%
13	13 環境関連活動団体や基金への協力・支援		7.7%	8.5%	16.2%
14	8 通勤時の自動車利用の自粛		2.3%	10.8%	13.1%
15	15 環境問題に関する国際交流		0.8%	3.1%	3.9%
16	16 その他		2.3%	1.5%	3.8%
	無回答		0.8%	9.2%	10.0%
	計		399.4%	228.5%	627.9%

図 2-5③



### 問3 秋田市の環境像についてお伺いします。

#### 設問内容

問3 望ましい秋田市の環境像についてお伺いします。  
 将来の秋田市の環境に対してどのような姿を望みますか。  
 次の中からあてはまるもの5つ以内に○をつけてください。

- 1 大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち
- 2 自然環境が保全され生きものともふれあえるまち
- 3 公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち
- 4 身近に林や田園風景が広がっているまち
- 5 海や川などのきれいな水辺環境に親しめるまち
- 6 歴史的・文化的資源が残され、歴史的な雰囲気のあるまち
- 7 ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち
- 8 省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち
- 9 地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち
- 10 事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち
- 11 周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち
- 12 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

#### 解析結果

望ましい秋田市の環境像については、「海や川などのきれいな水辺環境に親しめるまち」79社(60.8%)が最も高い回答となりました。次いで「大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち」76社(58.5%)、「公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち」70社(53.8%)の回答となりました。これら3項目は5割を超えた回答となっています。

一方、最も低い回答は「地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち」13社(10.0%)でした。【表3①参照】

前回調査と回答率を比べると、減少したのが3項目で、「その他」を除く残り9項目が増加しています。回答率の変化が大きい項目は4項目あり、「自然環境が保全され生きものともふれあえるまち」と「身近に林や田園風景が広がっているまち」の2項目が減少し順位が上位5位から下位8位、10位に下がり、また、「事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち」と「ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち」の2項目が増加し順位が下位7位、10位から上位5位に上がっています。【表3②参照】

表 3①

	項目	N=130	回答数	回答率
1	5	海や川などのきれいな水辺環境に親しめるまち	79	60.8%
2	1	大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち	76	58.5%
3	3	公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち	70	53.8%
4	10	事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち	51	39.2%
5	7	ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち	50	38.5%
6	6	歴史的・文化的資源が残され、歴史的な雰囲気のあるまち	45	34.6%
7	8	省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち	42	32.3%
8	2	自然環境が保全され生きものともふれあえるまち	41	31.5%
9	11	周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち	35	26.9%
10	4	身近に林や田園風景が広がっているまち	24	18.5%
11	9	地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち	13	10.0%
12	12	その他	-	-
		無回答	1	0.8%
		計	527	405.4%

図 3①

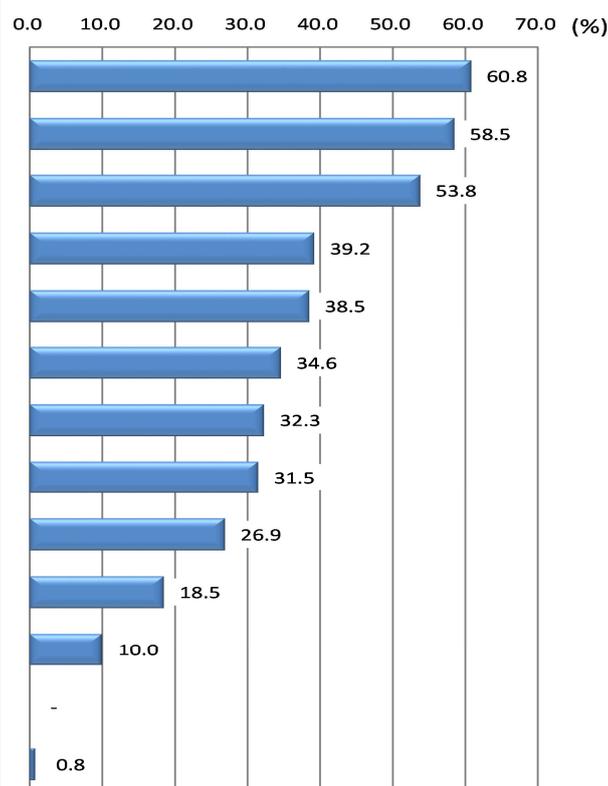
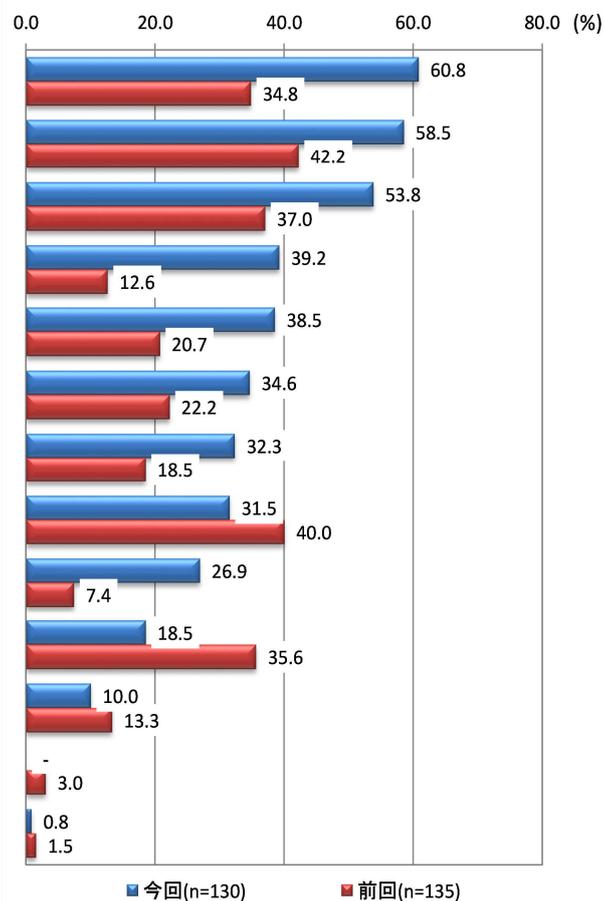


表 3② (前回調査比較)

	項目	今回 N=130	前回 N=135
1	5	海や川などのきれいな水辺環境に親しめるまち	60.8% / 34.8%
2	1	大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち	58.5% / 42.2%
3	3	公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち	53.8% / 37.0%
4	10	事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち	39.2% / 12.6%
5	7	ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち	38.5% / 20.7%
6	6	歴史的・文化的資源が残され、歴史的な雰囲気のあるまち	34.6% / 22.2%
7	8	省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち	32.3% / 18.5%
8	2	自然環境が保全され生きものともふれあえるまち	31.5% / 40.0%
9	11	周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち	26.9% / 7.4%
10	4	身近に林や田園風景が広がっているまち	18.5% / 35.6%
11	9	地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち	10.0% / 13.3%
12	12	その他	- / 3.0%
		無回答	0.8% / 1.5%
		計	405.4% / 288.8%

図 3② 同左



**問 4 秋田市の環境対策の仕組み・取組の変化についてお伺いします。**

**設問内容**

問 4 過去5年のうち、市民生活や事業活動における環境への影響を少なくしようとする秋田市の仕組みや取組がどのように変化したと感じられるかお伺いします。貴社の感じている状況に近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が十分に行われている
- 2 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が徐々に行われるようになってきている
- 3 以前と変わらない
- 4 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が以前より悪くなっている
- 5 わからない

**解析結果**

秋田市の取組の変化については、「わからない」との回答が15社(11.5%)からありました。「わからない」を除いた項目では「徐々に行われるようになってきている」が68社(52.4%)で最も高く、次いで「以前と変わらない」が39社(30.0%)、「十分に行われている」が5社(3.8%)、「以前より悪くなっている」が2社(1.5%)の回答となりました。

満足度%評価では、今回調査の満足ポイント(以降「P」と表記)は24.7P、前回調査が30.2Pで、5.5ポイント減少しています。【表4①②参照】また、満足度評価では、今回調査が[2.67]、前回調査が[2.69]で、満足度の差は[0.02]となります。【図4①②参照】

図 4① (前回調査比較) 満足度評価

※満足度評価・・・回答数に点数をかけた合計を、設問の全回答数(無回答・わからない除く)で除したものを[2.5]を基準とし[4.0]に近づくほど満足度が高く[1.0]に近づくほど低いことを表します。



図 4② (前回調査比較)

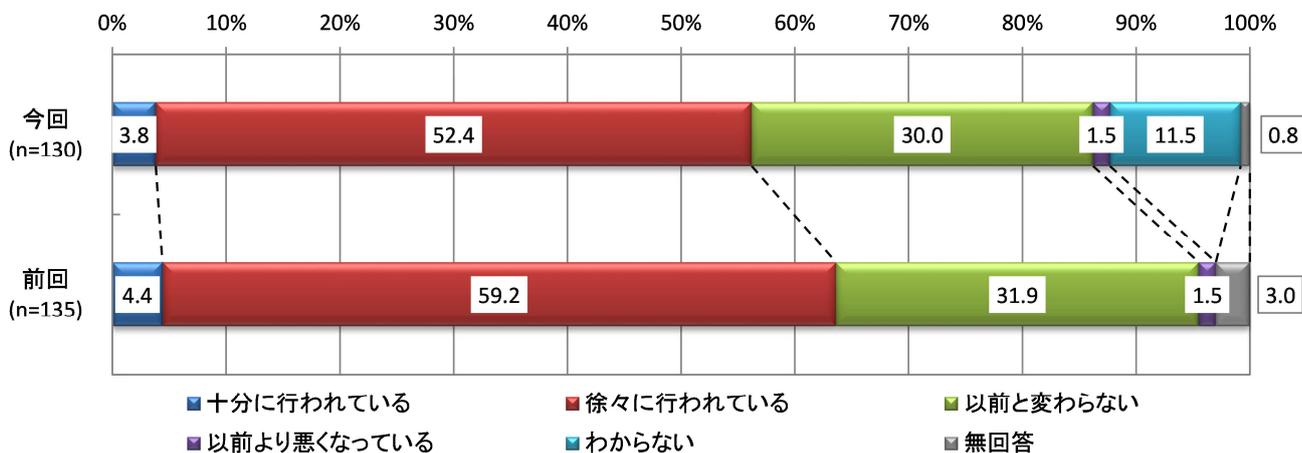
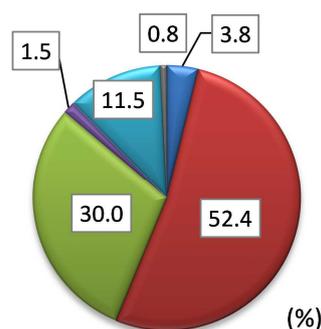


表 4①

	項目	N=130	回答数	回答率
1	環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が十分に行われている		5	3.8%
2	環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が徐々に行われるようになってきている		68	52.4%
3	以前と変わらない		39	30.0%
4	環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が以前より悪くなっている		2	1.5%
5	わからない		15	11.5%
	無回答		1	0.8%
	計		130	100.0%
A=1+2	満足である			56.2%
B=3+4	不満である			31.5%
C=A-B	満足ポイント			24.7

図 4③

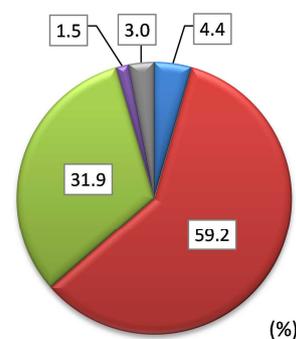


- 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が十分に行われている
- 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が徐々に行われるようになってきている
- 以前と変わらない
- 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が以前より悪くなっている
- わからない
- 無回答

表 4② (前回調査比較)

	項目	N=135	回答数	回答率
1	十分に行われている		6	4.4%
2	徐々に行われている		80	59.2%
3	以前と変わらない		43	31.9%
4	以前より悪くなった		2	1.5%
	無回答		4	3.0%
	計		135	100.0%
A=1+2	満足である			63.6%
B=3+4	不満である			33.4%
C=A-B	満足ポイント			30.2

図 4④ 同左



- 十分に行われている
- 徐々に行われている
- 以前と変わらない
- 以前より悪くなった
- 無回答

## 問5 貴社の環境マネジメント等の環境管理についてお伺いします。

### 設問内容

問5 貴社の環境マネジメントシステム等の環境管理への取組状況についてお伺いします。  
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 ISO14001、又は、エコアクション21の認証を受けている
- 2 自社で環境監査を実施している
- 3 現在、検討中である
- 4 実施の予定はない
- 5 当事業所には該当しない
- 6 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

### 解析結果

環境マネジメントシステム等の環境管理への取組状況については、「ISO14001、又は、エコアクション21の認証を受けている」が24社(18.5%)となっています。また、「自社で環境監査を実施している」が7社(5.4%)、「現在、検討中である」が25社(19.2%)となっています。これら3項目と「その他」に積極的活動を記述した6社を合わせた62社が環境マネジメントシステム等の環境管理への取組を進めています。【表5参照】

「実施の予定はない」44社(33.8%)が最も高い回答で、「当事業所には該当しない」21社(16.2%)と合わせた65社は環境管理への取組が行われていません。【表5参照】

「その他」には「自主的な形で地域貢献できる環境活動を実施している。」（建設業、サービス業）、「メーカーが進めている認証に基づいた環境管理を進めている。」（卸売・小売）、「交通エコロジー・モビリティ財団グリーン経営。」（運輸・通信業）という積極的な活動を示す回答が6社から挙げられました。

表5

項目	N=130	回答数	回答率
1 ISO14001、又は、エコアクション21の認証を受けている		24	18.5%
2 自社で環境監査を実施している		7	5.4%
3 現在、検討中である		25	19.2%
4 実施の予定はない		44	33.8%
5 当事業所には該当しない		21	16.2%
6 その他		6	4.6%
無回答		3	2.3%
計		130	100.0%

図5



## 問6 市に期待する環境に関する施策についてお伺いします。

### 設問内容

問6 今後、市に期待する環境に関する施策は、どのようなものですか。  
次の中からあてはまるもの5つ以内に○をつけてください。

- 1 環境施策に関する情報発信の充実
- 2 環境に関する広報活動、イベントなどの開催
- 3 法や条例などによる規制や指導の強化
- 4 市有施設への積極的な環境対策の導入
- 5 環境に関する普及啓発施設の整備
- 6 市民事業者の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援
- 7 市民、事業者向け環境学習会の開催
- 8 学校での環境教育の充実
- 9 環境関連活動などに取り組む市民団体やグループへの支援
- 10 環境や生きものに関する調査・研究の推進
- 11 自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進
- 12 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

### 解析結果

今後、市に期待する環境に関する施策については、「環境施策に関する情報発信の充実」が70社(53.8%)で最も高い回答となりました。次いで「学校での環境教育の充実」59社(45.4%)で、以降「市有施設への積極的な環境対策の導入」、「環境に関する広報活動、イベントなどの開催」、「市民事業者の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援」が3割台の回答となりました。

一方、「環境や生きものに関する調査・研究の推進」16社(12.3%)、「自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進」13社(10.0%)といった生きものや自然に関する施策は低い回答でした。【表6①参照】

前回調査と選択肢数が異なるため、今回調査の選択肢7と8の回答率を合算して比較すると、前回調査より回答率が低くなったのは、「環境に関する普及啓発施設の整備」が僅か0.8ポイント減少、他の項目はすべて増加しています。中でも大きく増加したのは「環境に関する広報活動、イベントなどの開催」が19.0ポイント増加、「法や条例などによる規制や指導の強化」が16.5ポイント増加しています。【表6②参照】

「その他」には「具体的な施策に対しての結果報告（PR）。」（サービス業）、「省エネ設備導入の助成金の強化。」（その他）という回答が挙げられました。

表 6①

	項目	N=130	回答数	回答率
1	1 環境施策に関する情報発信の充実		70	53.8%
2	8 学校での環境教育の充実		59	45.4%
3	4 市有施設への積極的な環境対策の導入		51	39.2%
4	2 環境に関する広報活動、イベントなどの開催		45	34.6%
5	6 市民事業者の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援		42	32.3%
6	3 法や条例などによる規制や指導の強化		32	24.6%
7	9 環境関連活動などに取り組む市民団体やグループへの支援		28	21.5%
8	7 市民、事業者向け環境学習会の開催		24	18.5%
9	5 環境に関する普及啓発施設の整備		23	17.7%
10	10 環境や生きものに関する調査・研究の推進		16	12.3%
11	11 自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進		13	10.0%
12	12 その他		2	1.5%
	無回答		2	1.5%
	計		407	312.9%

図 6①

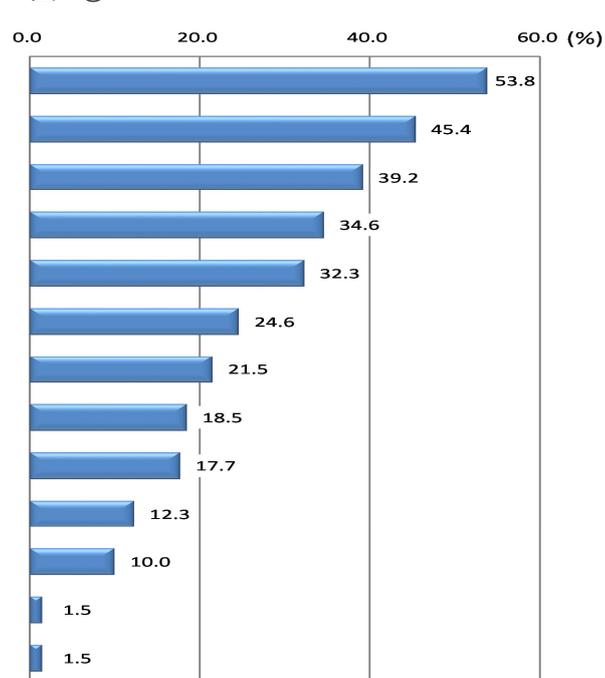
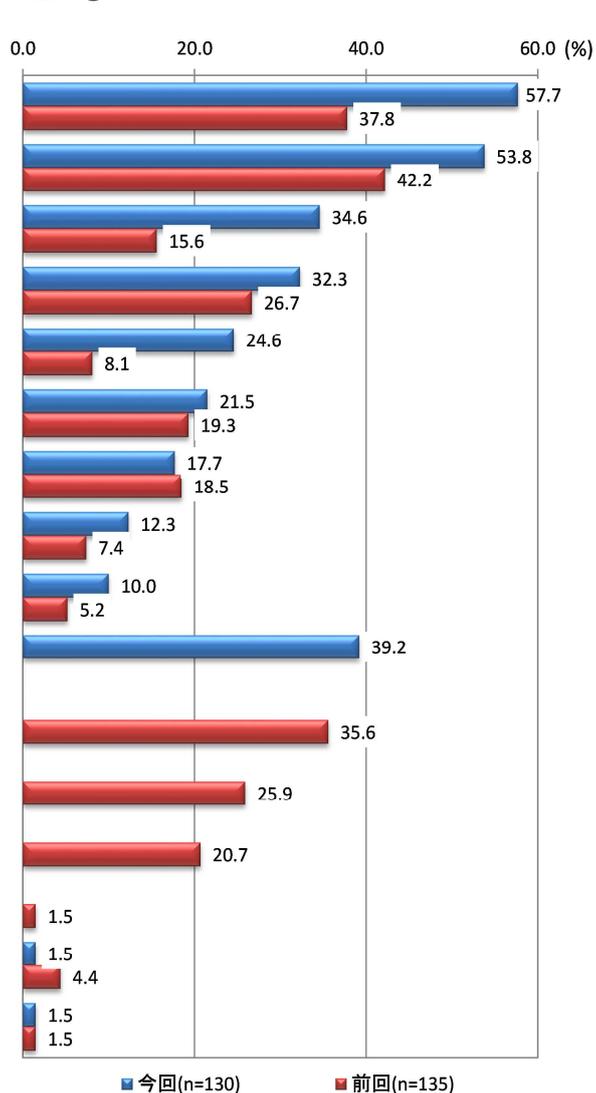


表 6② (前回調査比較)

	項目	今回 N=130	前回 N=135
1	7 市民、事業者向け環境学習会の開催 8 学校での環境教育の充実	57.7%	37.8%
2	1 環境施策に関する情報発信の充実	53.8%	42.2%
3	2 環境に関する広報活動、イベントなどの開催	34.6%	15.6%
4	6 市民事業者の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援	32.3%	26.7%
5	3 法や条例などによる規制や指導の強化	24.6%	8.1%
6	9 環境関連活動などに取り組む市民団体やグループへの支援	21.5%	19.3%
7	5 環境に関する普及啓発施設の整備	17.7%	18.5%
8	10 環境や生きものに関する調査・研究の推進	12.3%	7.4%
9	11 自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進	10.0%	5.2%
10	4 市有施設への積極的な環境対策の導入	39.2%	-
11	前回 開発と環境との調整の強化	-	35.6%
12	前回 税制等優遇措置の充実	-	25.9%
13	前回 事業者への指導強化	-	20.7%
14	前回 国際協力の推進	-	1.5%
15	12 その他	1.5%	4.4%
	無回答	1.5%	1.5%
	計	312.9%	270.4%

図 6② 同左



## 問7 市の情報発信についてお伺いします。

## 設問内容

問7-1 市が行っている環境関連の情報発信について満足していますか。  
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不満である
- 4 不満である
- 5 どちらともいえない

## 解析結果

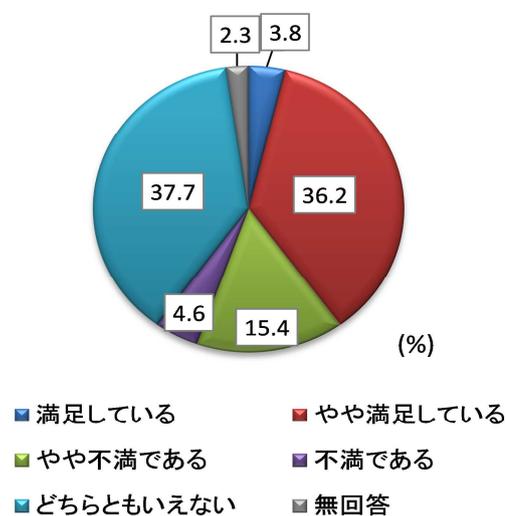
事業者による秋田市の情報発信の評価は、「満足している」と「やや満足している」を合わせた《満足である》52社(40.0%)で、「不満である」と「やや不満である」を合わせた《不満である》26社(20.0%)の2倍となっており満足度が高い結果となっています。【表7-1②参照】

ただし、「どちらともいえない」の回答が49社(37.7%)となっているほか、前問6(N=130)の市に期待する施策では、「環境施策に関する情報発信の充実」に期待しており、加えて「環境に関する広報活動」も期待が高いことから、更なる情報発信充実の他、事業者と市との情報連携不足などが課題として考えられます。【表7-1①参照】

表7-1①

項目	N=130	回答数	回答率
1 満足している		5	3.8%
2 やや満足している		47	36.2%
3 やや不満である		20	15.4%
4 不満である		6	4.6%
5 どちらともいえない		49	37.7%
無回答		3	2.3%
計		130	100.0%

図7-1①



**設問内容**

問7-2 市が行う環境関連の情報発信の方法は、どれが有効と思われますか。  
次の中からあてはまるもの5つ以内に○をつけてください。

- 1 広報あきた
- 2 秋田市ホームページ
- 3 SNS（ツイッター、フェイスブックなど）
- 4 モバイルアプリケーション（環境情報アプリなど）
- 5 広報テレビ、ラジオ
- 6 秋田市民便利帳
- 7 ポスター・チラシ
- 8 市役所や公共施設などへの掲示
- 9 新聞
- 10 地域の掲示板や回覧板
- 11 地域での説明会や各種講座の開催
- 12 環境イベントなどの開催
- 13 フォーラムやシンポジウム、講演会の開催
- 14 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

**解析結果**

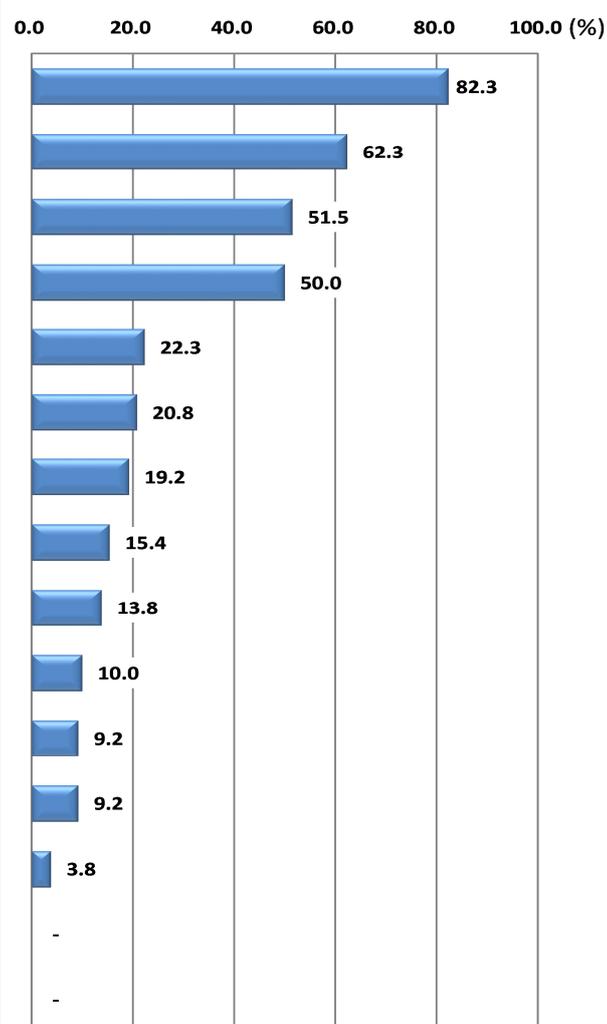
市が行う効果的な情報発信方法については、「広報あきた」が8割以上の高い回答となりました。次いで、「広報テレビ、ラジオ」も6割を超え、「秋田市ホームページ」と「新聞」が約5割で、他の項目は3割以下の回答となっています。

近年利用が広がっている「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）」は20社(15.4%)であり、「モバイルアプリケーション（環境情報アプリなど）」については5社(3.8%)と低い回答となっています。【表7-2参照】

表 7-2

	項目	N=130	回答数	回答率
1	1 広報あきた		107	82.3%
2	5 広報テレビ、ラジオ		81	62.3%
3	2 秋田市ホームページ		67	51.5%
4	9 新聞		65	50.0%
5	12 環境イベントなどの開催		29	22.3%
6	10 地域の掲示板や回覧板		27	20.8%
7	7 ポスター・チラシ		25	19.2%
8	3 SNS（ツイッター、フェイスブックなど）		20	15.4%
9	6 秋田市民便利帳		18	13.8%
10	8 市役所や公共施設などへの掲示		13	10.0%
11	11 地域での説明会や各種講座の開催		12	9.2%
12	13 フォーラムやシンポジウム、講演会の開催		12	9.2%
13	4 モバイルアプリケーション（環境情報アプリなど）		5	3.8%
14	14 その他		-	-
	無回答		-	-
	計		481	369.8%

図 7-2



## 問8 自由記述によるご意見をお伺いします。

### 設問内容

問8 市の環境に関する施策、環境問題に対するご意見等、自由にお書きください。

### 解析結果

有効回収130社の中から7業種10社よりのご意見をいただきました。  
意見の内容は以下のとおりです。

分類 コード	分類名称	件数
2	ごみ処理(有料化)	3
3	ごみ散乱・不法投棄	1
4	情報発信(PR・公表)	1
9	環境教育・意識啓発(学習等)	1
11	公害対策(汚染・悪臭・野焼き)	1
15	環境活動(美化運動)	1
17	利便性(交通機関)	1
22	事業者・環境団体支援	1
	合計	10

問9 回答者について

設問内容

問9-1 業種

<製造業>

- |             |               |           |
|-------------|---------------|-----------|
| 1 食料品       | 2 衣類その他の繊維製品  | 3 木材・木製品  |
| 4 パルプ・紙・紙加工 | 5 出版・印刷関係     | 6 石油・化学関連 |
| 7 金属・機械製品   | 8 その他の製造業 ( ) |           |

<製造業以外>

- |            |           |             |
|------------|-----------|-------------|
| 9 建設業      | 10 卸売・小売  | 11 飲食店      |
| 12 金融・保険業  | 13 運輸・通信業 | 14 不動産取引業   |
| 15 サービス業   | 16 廃棄物処理業 | 17 環境関連ビジネス |
| 18 その他 ( ) |           |             |

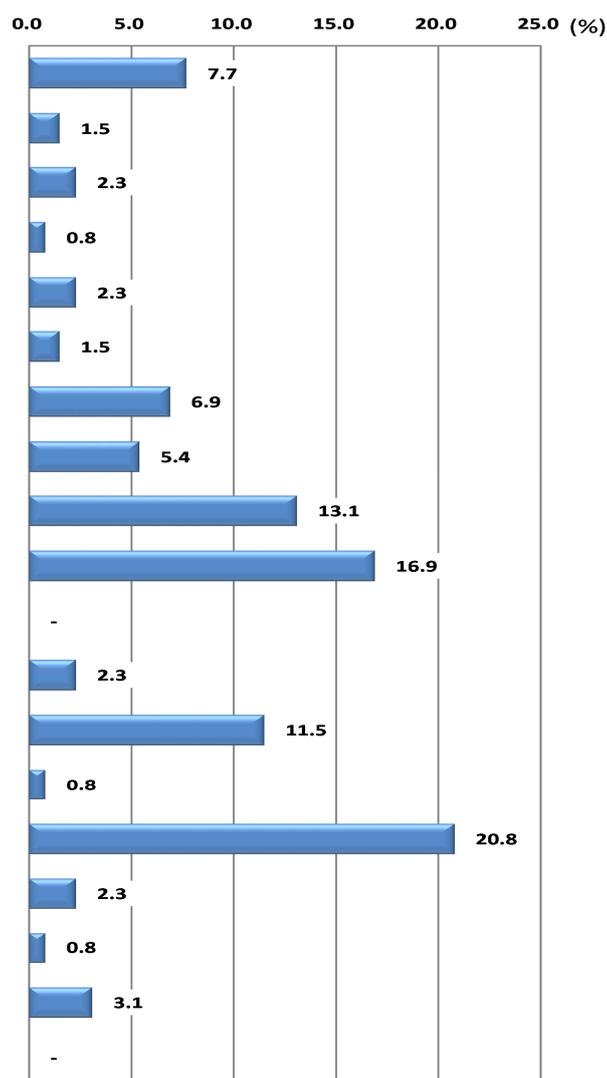
解析結果

業種「飲食店」から調査票回収が0件でしたが、事業者属性の「業種」、「従業員規模」、「資本金等」は比較的バランスのとれた回答が得られました。

表 9-1

項目	N=130	回答数	回答率
1 食料品		10	7.7%
2 衣類その他の繊維製品		2	1.5%
3 木材・木製品		3	2.3%
4 パルプ・紙・紙加工		1	0.8%
5 出版・印刷関係		3	2.3%
6 石油・化学関連		2	1.5%
7 金属・機械製品		9	6.9%
8 その他の製造業 ( )		7	5.4%
9 建設業		17	13.1%
10 卸売・小売		22	16.9%
11 飲食店		-	-
12 金融・保険業		3	2.3%
13 運輸・通信業		15	11.5%
14 不動産取引業		1	0.8%
15 サービス業		27	20.8%
16 廃棄物処理業		3	2.3%
17 環境関連ビジネス		1	0.8%
18 その他 ( )		4	3.1%
無回答		-	-
計		130	100.0%

図 9-1



設問内容

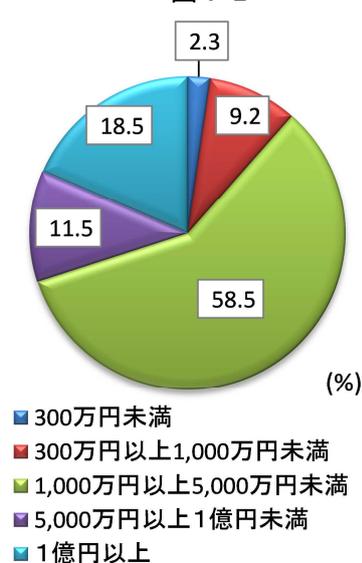
問9-2 資本金等

- 1 300万円未満
- 2 300万円以上1,000万円未満
- 3 1,000万円以上5,000万円未満
- 4 5,000万円以上1億円未満
- 5 1億円以上

表9-2

項目	N=130	回答数	回答率
1 300万円未満		3	2.3%
2 300万円以上1,000万円未満		12	9.2%
3 1,000万円以上5,000万円未満		76	58.5%
4 5,000万円以上1億円未満		15	11.5%
5 1億円以上		24	18.5%
無回答		-	-
計		130	100.0%

図9-2



設問内容

問9-3 従業員規模

- 1 20人未満
- 2 20人以上50人未満
- 3 50人以上100人未満
- 4 100人以上300人未満
- 5 300人以上

表9-3

項目	N=130	回答数	回答率
1 20人未満		6	4.6%
2 20人以上50人未満		59	45.4%
3 50人以上100人未満		19	14.6%
4 100人以上300人未満		33	25.4%
5 300人以上		13	10.0%
無回答		-	-
計		130	100.0%

図9-3

